

都市再生整備計画 事後評価シート
室積地区

平成30年3月

山口県光市

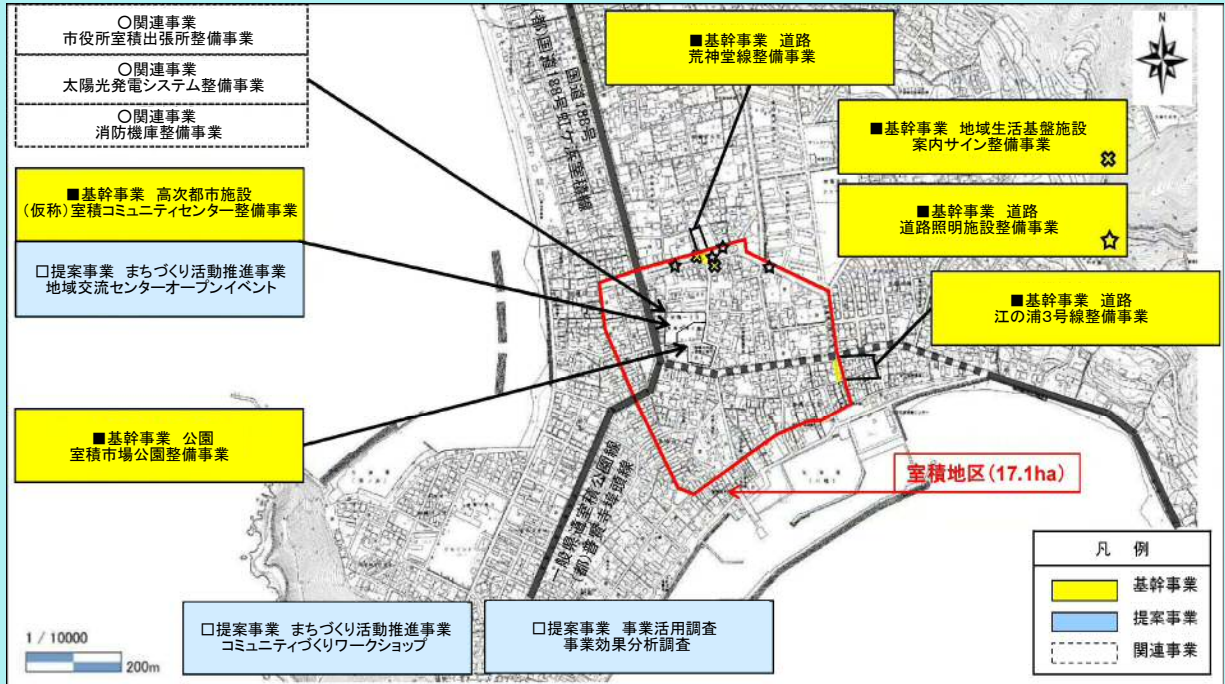
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	山口県		市町村名	光市		地区名	室積地区			面積	17.1ha		
交付期間	平成26年度～29年度		事後評価実施時期	平成29年度		交付対象事業費	548百万円	国費率	0.4				
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業	事業名 高次都市施設(室積コミュニティセンター)、公園(室積市場公園)、地域生活基盤施設(案内サイン)、道路(荒神堂線、道路照明施設)									
			提案事業	事業活用調査(事業効果分析調査事業)、まちづくり活動推進事業(コミュニティセンターオープンイベント、コミュニティづくりワークショップ)									
	当初計画から削除した事業		基幹事業	事業名 高次都市施設の一部(太陽光発電システム)		削除/追加の理由 他事業で実施したため、関連事業とした。			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響 影響なし				
			提案事業	-		-			-				
	新たに追加した事業		基幹事業	-		-			-				
			提案事業	-		-			-				
	交付期間の変更		当初	平成26年度～29年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響			-				
変更			-		-			-					
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	指標1	センター施設利用者数	人/年	18,599	H24	18,600	H29	-	28,722	○	あり	コミュニティづくりワークショップ及びコミュニティセンターオープンイベントを通じ、地域住民が主体となったコミュニティ活動が促進された。	-
	指標2	拠点施設の満足割合	%	8.4	H22	15.0	H29	-	46.0	○	あり	バリアフリー化及び図書コーナー等の各施設の設備や機能が充実したため。	-
	指標3	安全・安心に関する満足割合	%	29.4	H24	38.3	H29	-	34.1	△	あり	避難所となるコミュニティセンターの整備により、満足割合が上昇した。	H30年12月頃
	指標4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	なし	-	-
	指標5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	あり	-	-
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	その他の数値指標1	コミュニティセンター内の図書コーナー利用者数(入館手続きを伴わない)	人/年	914	H25	/	/	-	1,511	/	/	コミュニティセンターを市場公園と併設したことにより、利用が促進された。	-
	その他の数値指標2	-	-	-	-	/	/	-	-	/	/	-	-
	その他の数値指標3	-	-	-	-	/	/	-	-	/	/	-	-
4) 定性的な効果発現状況	コミュニティセンターと公園の再配置を工夫し、一体的な整備をしたことにより、開放感のある魅力的な空間となり、利用者の増加につながっている。特に平日の午後の小学生の利用が多く、コミュニティセンターと公園の往来もある。												
5) 実施過程の評価			実施内容				実施状況				今後の対応方針等		
	モニタリング	市民アンケート調査等によるモニタリング					都市再生整備計画に記載し、実施できた	都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	●	モニタリング同様に今後も動向を把握する。		
	住民参加プロセス	・コミュニティづくりワークショップ ・コミュニティセンターオープンイベント					都市再生整備計画に記載し、実施できた	都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	●	地域のニーズを把握し、地域住民主体のイベント等を促進させ支援するとともに、施設の利用のしやすさを向上させ、さらなる利用促進及び地域コミュニティの活性化を図る。		
	持続的なまちづくり体制の構築	-					都市再生整備計画に記載し、実施できた	都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	-	-		

様式2-2 地区の概要

室積地区(山口県光市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値	目標値	評価値
目標 大目標 安心して住める、活気に満ちた都市の実現 目標① コミュニティ活動の拠点の充実等により、コミュニティ活動の活性化を図り、活力を創出する。 目標② 防災活動拠点や避難場所の整備等により、地域住民の安全・安心に関する満足度を向上する。	施設利用者数	単位:人/年	18,599 H24	18,600 H29	28,722 H28
	拠点施設の満足割合	単位:%	8.4 H22	15.0 H29	46.0 H29
	安全・安心に関する満足割合	単位:%	29.4 H24	38.3 H29	34.1 H29
	図書コーナーの利用者数	単位:人/年	914 H25	-	1,511 H28
	-	-	-	-	-



まちの課題の変化

・コミュニティセンター整備により、利用者が大幅に増加し、世代間交流が促進され地域コミュニティが活性化された。
 ・老朽化した防災活動拠点の整備及び緊急避難所としてオープンスペースを併設したことにより、ハード面での安全性が向上したため、地域防災意識が高揚し活動が促進されつつある。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

・コミュニティ施設の充実(基盤整備)については概ね完了したため、施設を効果的に活用できるソフト面の一層の充実が必要である。
 ・安全・安心の満足割合のさらなる上昇を目指し、緊急車両の進入や避難経路を確保するための重要な防災基盤である地区道路の整備や地域住民の防災意識の向上に努める。